

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

令和 8 年 3 月

いきもの語り (重症児デイ オハナ・重症児デイアモ)

	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点や改善すべき点
①	事業所の設備等の設備について、バリアフリー化の配慮が適切に行なわれている	23			車椅子の対応のエレベーターや、トイレには手すりなど工夫されている。室内はすべてバリアフリーになっている。取れかけている壁のクッションがあるので修正します。
②	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	22	1		月1回の事業所内研修や訪問研修も積極的に行っており、事業所外の研修も参加している。医ケア児の為の喀痰吸引の研修も参加して、資格取得している。
③	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	21	2		一か月分のプログラムがカレンダーに一覧化され、固定化を予防している。外部の講師による音楽療法やボランティアのアロママッサージ、リンパマッサージ、絵本の読み聞かせなどで楽しんでもらっている。製作やあそびの内容も季節感やみんなが楽しめる工夫をしている。
④	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	23			朝の常勤ミーティング、非常勤が来てからの昼ミーティングを行っている。細かな所の変更や利用者の情報は事前に伝え、ラインworksで職員全員に情報を共有している。マンツーマンの担当割り振りも行っている。
⑤	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	23			カルテ記入用紙も見やすくわかりやすいよう改善した。記録を振りかえり、ケース会議を行い支援の検証、改善につなげていく。個人のカルテは毎回記録し、いつでも閲覧できるようになっている。リハビリ記録もカテゴリー分けしたり個々に合わせた記録をとっている。
⑥	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	23			事業所に来ていただいたの面談や、連絡帳でのやり取り、毎回の送迎時にお話しをさせてもらっている。何か変わったことがあるなど相談したい時は都度ラインでの連絡も密に行っている。
⑦	下校時の子供の様子などを学校との情報共有ができていますか	23			学校迎えの時に一人ひとりの様子を聞くようにしている。支援で分からないことや学校での支援方法を聞いて参考にしている。
⑧	個人情報に十分注意している	23			定期的に職員がリスクマネジメントについてチェックしている。
⑨	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	23			年度は初めにスタッフ、保護者に配布している。避難訓練は年2回、緊急時対応の研修も行い、スタッフ全員で周知するようにしている。新しいスタッフが入った時も周知するようにしている。
⑩	ヒヤリハット・アクシデントをスタッフ間で情報共有できている	23			すぐに用紙に記入をし、常勤朝ミーティングで発表し、ラインワークスにて全体に周知している。全体ミーティングでは、全員で問題点や改善案を話し合っている。用紙はファイリングしてまとめてあり、いつでも確認できるようにしてある。